

ここがいい! こながい

# 小長井図書館だより

2026年 10月号 No.314



諫早市立小長井図書館  
〒859-0165  
諫早市小長井町小川原浦825  
(小長井文化ホール内)  
0957-34-2972  
開室時間  
火～金 午前10時～午後6時  
土・日 午前9時～午後5時

2026・第80回 読書週間  
10/27～11/9



静かだけど、冒険中。



## <雑誌リサイクル>

保存期限の切れた雑誌のリサイクルを行います。ご希望の方は  
お早めにお越しくださいませ。10/24(土)～なくなり次第終了

## <小学生作品展>

10/24(土)から小長井小学校の児童の作品を展示します。  
子どもたちの元気いっぱいの作品をご覧ください。

## <粗品プレゼント>

本を借りた方にささやかなプレゼントを用意しています。  
10/24(土)～11/14(土)

## <スペシャルおはなし会>

絵本の読み語りのあと、シールを使ってしおりを作ります。  
11月14日(土)14時から  
申込不要



読書週間イベントのお知らせ



# 芸術の秋



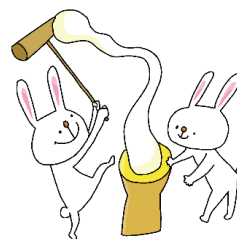
## 郷土の詩人 木下和郎展

10月20日(火)まで

小長井出身の詩人 木下和郎の詩3篇(「昭和十九年 秋」「石切丁場」「六地藏さん」)の紹介と、詩集『木下和郎詩集』『草の雷』『嵯峨島抄』『定本木下和郎全詩集』『詩人木下和郎素描』(島田勇/著)を展示しています。

諫早の芥川賞作家、野呂邦暢が述べているように、小長井の風土や人々をよく歌いあげています。

この機会に是非、これらの詩に触れてみてはいかがでしょうか。



## 10月 カレンダー

おはなし会は  
10月10日(土)  
14時から



おはなし会

休館日

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |



『いもほり、てつだってくんねえか？』  
い<sup>しゅつぽん</sup>わさきさとこ：さく BL出版



『とめどなくちいさき人へ』  
小説 白石一文：著 祥伝社



『ギャルにひかれて寺マルシェ』  
小説 宮島未奈：著 KADOKAWA

父親の酒屋を継いだ30歳の英介は、子どもの頃に近所の陵泉寺に埋めた高価なカードを掘り出すことに。偵察のため、<寺マルシェ>を訪れると、ギャルメイクで法話を行う元同級生の姿が…。



『六十肩・七十肩の治し方』  
健康 酒井慎太郎：著 内外出版社

40代・50代とは明確な違いがある、60代・70代の肩の痛み。100万人超の診療実績がある治療家の特徴と症状を解説するとともに、自宅で1日1分でできる、痛みを改善・予防するための肩トレなどを紹介する。



『堆肥と肥料の準備&使い方』  
園芸 ブティック社

猛暑、豪雨、干ばつに負けない、強い根が育つ畑のつくり方とは。有機家庭菜園で試せる、堆肥と肥料の利用法、アイデアを写真やイラストを交えて紹介する。



『恐竜少年』  
よみもの 結城熊王：作 本<sup>きょうりゅう</sup>田<sup>しょうねん</sup>亮：絵 岩崎書店

小学生のリュウトがおなかをすかせて帰ってきたのに冷蔵庫は空っぽ。冷凍庫にお肉があったから焼いて食べると、それは、お父さんが研究室から持ってきた恐竜肉だった。それからリュウトは恐竜になれるように…!?



『おかしなカードつめあわせ』  
そのほか 黒須和清：著 いかだ社



飛び出したり、ゆれたり、絵が変わったり…。洋菓子から和菓子、駄菓子、デザートまで、おかしをモチーフにした、かわいい手づくりカード30作品を紹介。型紙をダウンロードできるQRコード付き。

※内容紹介は新刊全点案内より